

京都大学におけるNAREGIの導入

京都大学 学術情報メディアセンター
義久 智樹
富士通株式会社 文教ソリューション事業本部
櫛橋 幹一郎

内容

1. インストール作業
2. 運用
3. まとめと今後

1:インストール作業

インストール作業

- ◆ 期間: 2006年5月～9月21日
(プランク期間あり)
- ◆ インストール先: 5台のサーバマシン
 - CPU: Intel Xeon 3.00GHz
 - メモリー: 2GByte
 - ネットワーク: 1Gbps
- ◆ マシン構成

計算環境
VMサーバ: 1台
VMクライアント: なし

問題点と解決方法(1/2)

- ◆ 作業量の概算
 - α 版と比較して作業量が非常に多く、当初の作業量見積もり、スケジューリングに苦労した。
(最低1ヶ月みっちり)
→作業者の負担大(片手間にはできない)
- ◆ マニュアル記載ミス

マニュアルでIPアドレス、ポート番号、パス名の記載ミス
→自己解決(特に大きな問題にはならなかった。
1.0→1.0.1でかなり改善されているようです)

1:インストール作業

問題点と解決方法(2/2)

- ◆ サービスの起動・停止手順が煩雑
 - 可能な処理はスクリプト化して手間削減
- ◆ Globus, MyProxyの証明書有効期限が短く、常に意識しておかなければならない。
 - みなさんのように対処されますか？

手順等の細かい話題については割愛
現時点では既に解決している可能性はあります

1:インストール作業

NAREGIの訪問

- ◆ IS、SSトラブル対応で来ていただいた
- ◆ 期間: 9月19日～21日
- ◆ 人員: 2名
- ◆ 感想: サポート部隊に対応いただいたが、問題の切り分けが早く、比較的短時間でスムーズに解決することができた。
PSEやWFTで発生した問題にも、過去事例等から迅速に対処いただき無事にインストールを完了することができた。

2:運用

運用

♦ SE室から接続

- 感想:PSE,WFTの動作確認を行ったが、挙動、画面遷移等特に問題なかった。

♦ 助手室から接続

- 感想:特に問題なし。

♦ 他サイトとの連携はこれから

- 12月末～年始に他キャンパスとの連携を予定

3:まとめ

まとめと今後

♦ 京都大学におけるNAREGIのインストール作業について報告した。

♦ 今後

- 連携運用